

＜ 今日の説教のポイント 出エジプト記 17章1～7節 ＞

1 「主の命令により」(1)が意味することは？ 神が示されたのだから。

読み飛ばしそうな出だしの言葉「**主の命令により**」(1)に注目です。イスラエル人にとって荒れ野の旅はエジプト脱出を導いて下さった**主**(ヤハウエの訳：私はあるの意、3:14)が命じられた旅なのです。このことをいつも真っ先に考えて生きる「**共同体**」(1)となるように、主はマラで水を、シンの荒れ野でマナを与えて下さったのでした。しかし、また目の前の危機に心奪われ、この神様を信じられなくなったのです。今の私たちはどうでしょうか。「八方ふさがりの時こそ、この主なる神様を信じる」、常にここに立ち直すことをアイデンティティとする**共同体**形成をこれからも目指していこうではありませんか。

2 「主を試す」(2,7)のではなく、主を信頼し御言葉に従って歩む。

この個所では、イスラエルの人々が「**主を試す(した)**」(2,7)ということが2回言われて強調されています。前の二つの出来事では主が彼らを試された(16:4)のであり、それはこれからの荒れ野の旅に備える訓練の意味も持っていたのですが、むしろもっと悪いことが起きてしまったと言えるでしょう、人が神を試すのですから。これはイエス様が宣教を始められる直前に悪魔から受けた3つの誘惑(「試す」が悪い方向の意味で用いられるときの意)の際に悪魔が用いた手段です(マタイ 4:1以下)。これに対してイエス様は、言われるがまま相手の土俵で相撲を取らず(4)、主を試すことの間違いを指摘し(7)、何あっても主なる神に仕える(10)、この三つの答えで返されたのです。すると悪魔は去って行き、代わって天使たちがイエス様に仕えたというのです(11)。この三つの答えは、私たちが色んな悪魔の誘惑にあった時にも有効な手段です。信仰者としての生き方をこのようにして聖書から教えられていく幸いを思います。

3 なぜ「ホレブの岩」(6)？ 神様はここで与えられたのは水と律法。

「**ホレブ**」(6)はモーセが神様の教え(律法)の中心である十戒を受け取る山です。そこで水も与えられたのです。先のイエス様の三つの答えを思います。この世界を造り、命を誕生させ、その命を支え給う主なる神様。この神様の教えを聞き、水で代表される神様が与えて下さった自然界をも尊重して生きていく者と私たちがなるときに、世界は「**極めて良い**」(創世記 1:31)となるのです。その生き方を率先していく役割が私たち「**新しく創造された者**」(Ⅱコリント 5:17)に託されているのです。